



毎年9月21日は「認知症の日」(世界アルツハイマーデー)、9月は「認知症月間」(世界アルツハイマー月間)



## ～認知症について考えよう～

市では、認知症の人やその家族を温かく見守り、助け合うことができる「やさしいまちづくり」を目指しており、認知症月間に合わせ啓発パネル展示や映画の自主上映会、認知症サポーター養成講座を開催します。この機会に認知症について考えてみませんか。

### 中央図書館 認知症啓発パネル展示

認知症サポーターの方にご協力いただき作成した認知症を正しく理解するためのパネルを展示します。「認知症」をテーマとした本のコーナーや、パンフレットを設置していますので、図書館にお越しの際はぜひご覧いただき、認知症について一緒に考えてみませんか。



【期間】9月1日(月)～10月31日(金)  
【場所】中央図書館  
問 中央図書館 ☎871-1400

### 『毎日がアルツハイマー』 自主上映会

『毎日がアルツハイマー』は、関口祐加監督が認知症の母親との自宅での介護生活を記録したドキュメンタリー映画。認知症の母と娘の間に繰り広げられる、ユーモラスで時に心温まる、そして時に戸惑いや葛藤も交えた、リアルな日常が描かれています。

【日時】10月4日(土)午後2時～4時  
(午後1時30分開場)

【場所】エスカードホール  
【申込方法】電話または  
二次元コードから申し込み  
問 牛久市地域包括支援  
センター ☎878-5050

入場無料  
先着150人



### 認知症サポーター 養成講座

認知症サポーターとは、正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族を手助けする人です。認知症について基礎から学び、認知症サポーターになってみませんか？

【日時】10月10日(金)午後2時～4時  
(午後1時30分受付)

【場所】保健センター研修室(2階)

【申込方法】電話で申し込み

※「氏名、生年月日、住所、  
電話番号、行政区」をお  
伝えください。

受講料無料  
先着50人

問 牛久市地域包括支援センター  
☎878-5050

【問い合わせ】牛久市地域包括支援センター ☎878-5050

## 皆さんの支援が日本赤十字社の活動を支えています

日本赤十字社では災害救護活動や救援物資の配布、防災・減災活動の普及、救急法の普及、ボランティアの育成を行っています。これらの活動は皆さんからいただいた寄附をもとに行っています。また、市町村ごとにボランティアグループが組織され、地域赤十字奉仕団として活動しています。

### 日赤の主な活動

#### 献血事業

安全な輸血用の血液供給  
市役所でも定期的に献血  
を実施しています

#### 国際活動

紛争地域での国境を  
越えた人道的活動

#### 災害救護

災害時、医療救護班の派遣  
や救援物資などの配布、  
心のケアを行います

### 牛久市赤十字奉仕団 地域のために活動しています

当奉仕団は、平成11年、茨城県防災訓練が牛久市で実施されたことをきっかけに結成されました。当初は、民生委員の有志31人。現在は現役の民生委員や民生委員のOB、OGなど19人で活動しています。

主な活動は、災害救護活動や献血協力者の援助などです。訓練も兼ねてうしくWaiワイ祭りでは非常食の炊き出しを行い、来場者に提供しています。実際に、東日本大震災、常総市の鬼怒川水害の際には現地で被災者の方に炊き出しを行いました。また、活動支援のため募金活動や、有事の際を想定して、防災に関する体験活動や救急救命講習などの研修を実施しています。

5月12日には長年に渡り活躍している団員6人が日本赤十字社から金色有功賞を受賞しました。



【問い合わせ】社会福祉課 ☎内線1711